

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公)

公表:令和08年03月30日

事業所名 リアン・プラス 第2教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	年に一度、総会等に外部の方へきていただき評価をいただいている	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	スキルアップ研修(1回/3か月)・基礎研修(1回/2か月)その他必要に応じて、実施している	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	月に2回現場担当者参加の上策定会議を実施し、でた意見を参考の上、個別支援計画を差作成	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	各プログラムで担当制にしている為、月に一回担当者があつまりMTG実施プログラムの立案等を行っている	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	各プログラム担当制にしている、月に一回担当者が集まりミーティング実施プログラムが固定化しないようしている	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	平日にはできないようなイベントや社会参加の場などを、休日・長期休暇に機会を設定し支援を行っている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	放課後等デイサービスの中で、プログラムを3つに細分化しており、個々に応じた形で本人にあった形で計画を作成している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・毎朝、朝礼をオンラインGoogle MEETを利用して実施している (参加していない人も、録画している為 視聴可) ・各プログラム開始前の打合せ実施している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・毎朝、前日の振り返りオンラインGoogle MEETを利用して実施している (参加していない人も、録画している為 視聴可) ・各プログラムで支援終了後 振り返りを実施している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	支援記録等は、アプリを使用しており申請制にしている為、記録の内容に修正点があればその都度指導している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	親御さんへの申し送り以外に、日々の特記事項以外は、経過記録に残すよう徹底している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	学校単位で、下校時間等の連絡調整は書面で行うようにしている	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	医療的ケア受け入れの際は、すべて実施研修を行ってから受け入れをしている為、主治医との連絡体制は整えている	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			家族サポート事業で、ママカフェを実施しておりその中で、「就学前のおはなし」など実施している	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			必要に応じてサポートブックなどを、親御さんと一緒に作成できるよう提案したりしている	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	年に数回、専門機関の見学や、勉強会にスタッフと訪問させていただく機会を設けている	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	保育所等訪問事業とは、別に移行支援として利用者からニーズが上がった際は、柔軟に対応している	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	86%	14%	今年度、地域の協議会からお誘いいただき初めて参加させていただいた	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	100%	0%	各プログラムで最低年一回は、ママカフェを実施して、親御さん同士のコミュニティの場、共通理解の場を設けている	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	71%	29%	昨年度に引き続き、地域の協議会からお誘いいただき継続して参加させていただいている	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	100%	0%			
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	各プログラムで、ママカフェを実施して、親御さん同士のコミュニティの場、共通理解の場を設けている	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	令和8年2月4日連続講座で実施、継続して今後も、実施予定	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0%	100%	障がいに関係なく就学前児童・親御さんに向け週2回 親子ひろば「ぐんぐん」を開催している	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	長期休暇基本、実施している	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%		
	非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	連絡用アプリ「HUG」を利用し、周知しており年2回、発生を想定した訓練を行っている
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		100%	0%	保護者様に対応をヒアリングし、マニュアルを作成して職員に情報共有している	
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している		100%	0%		
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		100%	0%	保護者様に対応をヒアリングし、マニュアルを作成して職員に情報共有している	
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		100%	0%		
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		100%	0%		
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		100%	0%		身体拘束の可能性がある利用者のご家族様には説明・了承の上、児童発達支援計画に記載している

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。